健康経営に関するデータ

健康経営に関連する各指標		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
健康投資施策の取組状況に対する指標						
	月間時間外労働時間	3時間5分	3時間28分	2時間37分	3時間32分	4時間18分
	有給休暇取得率	77.7%	81.4%	91.5%	89.0%	88.2%
	ストレスチェック受検率	97.6%	97.1%	97.8%	97.5%	96.8%
	定期健康診断受診率	99.4%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%
	特定保健指導実施率	73.0%	71.8%	92.0%	95.2%	90.0%
	精密検査受診率	92.4%	95.5%	95.0%	92%	91.7%
	ハイリスク者へのフォロー率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	ウォーキングキャンペーン参加率（年度平均）	23.6%	28.6%	46.9%	51.8%	52.0%
	健康関連イベント実施回数（セミナー・研修）	4回	9回	9回	15回	12回
	女性の健康課題に関する施策への参加状況	ー	ー	2.0%	86.1%	90.0%
	社員からみた当社の健康経営への満足度（取組評価）	ー	ー	74.2%	74.0%	74.1%
社員の意識変容・行動変容に関する指標（パフォーマンス指標）						
	（生活習慣病リスク保有者の割合：全健保組合平均値を100とする相対スコア・高いほど良好）					
	肥満リスク	131	132	128	126	125
	血圧リスク	112	116	120	117	122
	肝機能リスク	138	148	141	141	138
	脂質リスク	149	165	160	165	156
	血糖リスク	96	101	103	112	106
	（適正な生活習慣を有する者の割合：全健保組合平均値を100とするスコア・高いほど良好）					
	喫煙習慣リスク	111	111	111	112	112
	運動習慣リスク	87	89	95	88	88
	食事習慣リスク	125	122	115	117	117
	飲酒習慣リスク	108	107	107	107	107
	睡眠習慣リスク	121	113	112	115	113
	健康診断の問診集計結果等					
	適切な運動習慣を有する者の割合	25.5%	28.8%	28.8%	30.0%	29.9%
	適切な食事習慣を有する者の割合	69.6%	55.3%	53.3%	59.4%	54.2%
	適切な飲酒習慣を有する者の割合	95.5%	96.0%	95.8%	95.7%	97.5%
	適切な睡眠習慣を有する者の割合	75.1%	75.5%	75.6%	72.5%	71.9%
	喫煙率	17.5%	15.7%	14.7%	13.6%	13.3%
	ハイリスク者の医療機関受診率	ー	47.60%	52.40%	50.9%	56.4%
社員の意識変容・行動変容に関する指標（パフォーマンス指標以外）						
	適正体重者比率	69.7%	69.4%	68.7%	68.8%	67.8%
	肥満者比率	20.1%	19.8%	20.0%	20.9%	21.5%
	ハイリスク者比率	6.9%	7.7%	8.7%	8.5%	7.7%
	平均勤続年数	17年4ヶ月	16年9ヶ月	15年9ヶ月	16年11か月	17年7か月
	傷病休職の状況（2021年度を100とする指数増減）	ー	100	140	131	131
	欠勤率（年度中の欠勤利用者数/年度末正社員数）	1.89%	2.11%	2.97%	2.00%	1.91%
	高ストレス者率（ストレスチェックより）	6.8%	7.1%	6.0%	5.8%	5.9%
労働安全衛生に関する指標						
	労災件数	14件	9件	9件	9件	15件

健康関連の最終的な目標指標					
①-1プレゼンティーイズム	ー	ー	4.1点	4.1点	4.1点
①-2プレゼンティーイズム（東大1項目版）	ー	ー	ー	ー	80.60%
②アブセンティーズム（社員一人当欠勤・休暇日数）	ー	1.24日	1.52日	1.30日	1.50日
③社員のヘルスリテラシー（生活習慣改善意向者の比率）	84.3%	83.6%	83.7%	83.6%	83.9%

上記の測定方法	測定人数	回答率
①-1ストレスチェック内設問に基づくプレゼンティーイズム5段階評価（5点満点：委託先指標）	1,972人	96.8%
①-2プレゼンティーズム（東大1項目版）	1,851人	87.8%
②年度中の欠勤・休職日数/年度末正社員数	1,888人	100.0%
③社員のヘルスリテラシー	1,888人	100.0%

※①ー１プレゼンティーイズムはストレスチェック委託先の指標による5段階評価を2023年より開始。年代・職位・所属などカテゴリー別に計測可能、当データは全体平均を採用。米国のEAP会社であるChestnut Global Partners (CGP)が作成した25項目の質問紙で、産業保健活動の効果測定に利用されている、WORK PLACE OUTCOME SUITE（WOS）の日本語版を利用。
（2024年6月実施直近値を記載・5点満点：社内全体平均4.1点＞統計平均3.9点）

健康経営の指標					
ワークエンゲイジメント	ー	ー	2.6点	2.7点	2.7点

上記の測定方法	測定人数	回答率
③ストレスチェック内のアウトカム項目（ワーク・エンゲージメント）	1,972人	96.8%

≪全体コメント≫

【取組みの背景・状況】
各取組みについては、社員の心身の健康の保持増進への効果を見据え、主体である社員の関心度も確認しながら、事業主と健保組合とのコラボヘルスを意識し実施しています。経産省・厚労省による「健康スコアリングレポート」では、取組み・結果とも全体では良好な状況にあります。このなかで、相対的に低スコアである運動習慣については当社社員の課題と認識し、ウォーキングキャンペーンなど運動習慣定着につながる取組みを展開しています。

【業態平均との比較】
健康スコアリングレポートにおける特定健診/特定保健指導の取組みは業態平均以上かつ全健康保険組合中の最上位、生活習慣リスク保有者割合・適正な生活習慣者割合については業態平均比較で、血糖・運動習慣を除く全て（全10項目中8項目）が業態平均以上のスコアであり、総体的に取組み・取組み成果とも良好な状況といえます。